



小矢部市

議会だより

平成26年8月発行

No.174

発行 / 小矢部市議会

電話 (0766)67-1760 (内線 322)

FAX (0766)68-0194

さらなる飛躍へ期待高まる

市の東西に延びる新幹線高架橋と順調に整備が進む東部産業団地。来年開業予定の北陸新幹線とアウトレットモールは、小矢部市の知名度を飛躍的に高め、地域経済の活性化やにぎわいの創出、交流人口や定住人口の増加につながるものと期待されています。



(写真：稲葉山からの眺望 手前左下はアウトレットモールが建設される東部産業団地)



概要・人事案件等	2	議長交際費・9月議会日程等	8
審議経過	2	意見書	9
可決議案・議員別賛否状況	3	閉会中委員会開催状況	10
代表・一般質問	4~7	委員会報告	11
傍聴のお知らせ等	7	会務報告・編集後記	12

補正予算・条例の一部改正など

13議案を議決しました

6月9日から20日までの12日間を会期として6月定例会を開会しました。

市長から平成26年度小矢部市一般会計補正予算や公平委員会委員の選任意、専決処分事項の承認についてなど11議案が、議員から議員提出議案（意見書）2議案が提出され、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。

その他、農業委員会委員を推薦し、請願2件を処理しました。また、議員派遣を可決しました。

◎ 補正予算の概要

議案第35号 平成26年度小矢部市一般会計補正予算（第1号）

補正額 1億131.2万円 累計予算額 139億7,971.2万円

《主な事業》

- ・プレミアム商品券発行事業補助金 1,000万円
- ・コミュニティ助成事業助成金 1,990万円
- ・小矢部消防署津沢出張所用地取得費・造成費 4,744.8万円
- ・多面的機能支払事業交付金 880.9万円
- ・クロスランドおやべ落雷被害復旧修繕費 560万円

議案第36号 平成26年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 3,444.8万円 累計予算額 1億8,674.8万円

《主な事業》

- ・小矢部消防署津沢出張所用地売却 3,444.8万円
(売却代金を土地開発基金借入金に返済)

人事案件

◎小矢部市公平委員会委員の選任

蟹谷 壽生 氏（下後巫）

◎小矢部市農業委員会委員の推薦

義浦 英昭 氏（八講田）

澤 儀之 氏（金屋本江）

石田 義弘 氏（矢水町）

永年勤続議員表彰

◎全国市議会議長会及び北信越市議会議長会定期総会において、次の議員が議員特別表彰を受けられました。

◎正副議長在職4年以上表彰

中村 重樹 議員

◎議員在職15年以上表彰

中村 重樹 議員

沼田 信良 議員

中西 正史 議員

多田 勲 議員

尾山 喜次 議員

6月定例会の審議経過

（会期12日間）

9日 本会議（提案理由説明）

全員協議会

10日 議案調査日

11日 議案調査日

12日 議案調査日

13日 議会運営委員会

本会議（代表・一般質問）

17日 民生文教常任委員会

産業建設常任委員会

18日 総務常任委員会

東部産業団地等特別委員会

19日 委員長会議

20日 議会運営委員会

全員協議会

本会議（質疑・討論・表決他）

6月定例会で可決された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対 欠：欠席

区 分 (主な内容)		議決結果	義	吉	藤	白	福	石	嶋	中	沼	中	多	尾	砂	宮
			浦	田	本	井	島	田	村	田	西	田	山	田	喜	田
			英	康	雅	中	正	義	幸	重	信	正	田	山	田	佐
			昭	弘	明		力	弘	恵	樹	良	史	勲	喜	喜	作
補正予算	議案第35号	平成26年度小矢部市一般会計補正予算(第1号) (概要は2ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第36号	平成26年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第1号) (概要は2ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定改廃	議案第37号	小矢部市税条例等の一部改正 ・平成26年度税制改正に伴い、法人市民税と軽自動車税等について、所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	議案第38号	小矢部市重度心身障害者等医療費助成条例の一部改正 ・65歳以上70歳未満の軽度障害者に対する医療費の助成割合と助成金の交付方法について、県の助成事業の見直しに合わせて改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	議案第39号	小矢部東インター口高速路線バス停留所の設置及び管理に関する条例の一部改正 ・高速路線バス利用者の利便性の向上と交流人口の増加を図るため、民間事業者が整備するバスターミナルの一部を借用し、既存高速路線バス停留所の機能を移転させる改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	議案第40号	小矢部市商工業振興条例の一部改正 ・富山県企業立地助成金交付要綱の改正に伴い、助成措置の条件の明確化などについて内容を統一させるため、改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
その他の議案	議案第41号	財産の取得の変更 ・東部産業団地造成事業用地の取得の変更を行うもの。 用地面積 4,548.90㎡の増 取得価格 73,026,192円の増	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	議案第42号	工事請負契約の締結 ・美術活動拠点施設建築主体工事 契約金額 170,618,400円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
専決承認	承認第1号	小矢部市税条例の一部改正(3月31日専決) ・平成26年度税制改正に伴い、市民税と固定資産税について、所要の改正を行ったもの。 (平成26年4月1日付け施行)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	承認第2号	小矢部市国民健康保険税条例の一部改正(3月31日専決) ・平成26年度税制改正に伴い、国民健康保険税について、所要の改正を行ったもの。 (平成26年4月1日付け施行)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
会案採	同意第1号	小矢部市公平委員会委員の選任 (概要は2ページを参照ください)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
請願	請願第1号	国民健康保険税の引き下げを求める請願 請願者 堀内昭世(紹介議員 砂田喜昭)	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×
	請願第2号	憲法解釈を変えて集团的自衛権行使を容認することに反対する意見書採択を求める請願 請願者 集团的自衛権行使容認に反対し、秘密保護法の廃止を求めるアピール呼びかけ人代表 土井由三 青島明生(紹介議員 砂田喜昭)	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×
	議員提出議案第2号	手話言語法制定を求める意見書 (内容は9ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	議員提出議案第3号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書 (内容は9ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○

議長は中立公平の立場から表決に加わりません

6月定例会で報告された事項

経営状況等報告	報告第1号	平成25年度小矢部市継続費繰越計算書の報告
	報告第2号	平成25年度小矢部市繰越明許費繰越計算書の報告
	報告第3号	小矢部市土地開発公社の経営状況報告
	報告第4号	公益財団法人小矢部市体育協会の経営状況報告
	報告第5号	公益財団法人クロスランドおやべの経営状況報告



誠流 中西 正史 議員

◎市長の三選出馬について

質問 11月の告示になるかと思うが、今年市長選挙が予定されている。市長は3期目に向けて市長選挙に出馬されるのか。今現在の考えを問う。

答弁 平成18年から市政を担当させていただき、本年12月で2期目を終えようとしている。この間、平成24年には、市制施行50周年という大きな節目を迎え、新たな半世紀に向けて力強く踏み出すことを約束した。そして、平成25年には、新たな魅力創出の目玉となる念願のアウトレットモールの進出が決定した。これは北陸では初めての進出であり、本市の知名度向上、商業の振興、雇用や賑わいの創出、さらには交流人口・定住人口の増加など、一石二鳥どころか一石数鳥の効果があるものと考えている。また、第6次総合計画については、今年度から後期実施計画に着手をし、「魅力・安心・充実しあわせおやべ」の実現に向けていよいよアクセルを踏み出す環境が整ったと確信している。議員各位や市民の皆さんにご理解いただけるということであれば、引き続き、市政を担わせていただきたい

と考えている。

質問 今初めて公式の場で、市民と市議会に対し、正式に3期目の出馬を表明された。出馬に当たり市長は政党の公認や推薦、いろいろな団体の推薦について、どのように考えているのか。公認や推薦を自らお願いされるのか、あるいは公認や推薦してくれる政党なり団体であればどこでもよいという考えか。見解を問う。

答弁 これまでと同様、基本的には市民党の立場を貫いていきたい。ただ、政策的に共通の認識を共有できる政党があれば、推薦をお願いするといったことも自分なりに考慮していきたい。

質問 本市は、北陸自動車道、東海北陸自動車道、能越自動車道という高速道路網に恵まれ、ハブ都市として各方面から注目されている。地方都市の中で、これほど立地条件が良い都市はそれほど多くない。高速道路網に恵まれたハブ都市小矢部の地理的優位性を、物流や交流人口の増大、観光推進や企業誘致などに活かし、3期目の市政に展開することが必要だと考えるが、市長の見解を問う。

答弁 ご指摘のとおり、ハブ都市、

そして日本のど真ん中であるという地理的優位性については、常々企業誘致の際に説明を行ってきた。それが今回、ある意味生き残りをかけて誘致に取り組んできたアウトレット事業の成就につながったと思っている。是非このビッグプロジェクトで大きな花を咲かせたいと考えているし、アウトレット事業のみならず、企業誘致にもトップセールスでしっかり取り組んでいきたいと考えている。

質問 北陸新幹線の開通やアウトレットモールの開業など、本市には少し明るい希望が見られるように思う。しかし、今後予定されている石動駅周辺整備、総合会館の建て替え、それに伴う図書館の建設、美術館の建設、これらのほか第6次総合計画後期実施計画に盛り込まれた、いわゆる箱物の整備は心配であり、懸念材料である。昭和50〜60年代に建設された公共施設が老朽化し、今後補修等に多額の費用が必要になると考えられるし、これから大多数の日本の都市に起こり得る人口減少、財源や税収の減少による財政の硬直化が予想されている。市長は、8年前の市長選に出馬した際の公約の1

つに、道の駅の規模と建設費の縮小を訴えられた。この8年前の考え方、初心というものが少し薄れたのではないか。後世の子どもや孫に少しでも負担を残さないようにすることが大切であると思うが、市長の見解を問う。

答弁 8年前の道の駅建設事業については、費用対効果や当時の財政状況を考慮して縮小を訴えたものである。第6次総合計画後期実施計画に当たっては、財政見直しを立てつつ、有利な財源を活用し、さらには行財政改革にも取り組んで、後世に負担を残さないように、我々の世代で完結するというような形でしっかりと取り組んでいきたいと考えている。

質問 市政運営上、国や県とのつながりは非常に重要であり、連携強化を強く願っている。市長の見解を問う。

答弁 これまで以上に国や県との関係強化に努めていきたい。特に、県は、北陸新幹線の開業を10年に一度のビッグチャンスと位置付けている。我が小矢部市も、県政発展の一翼を担うべく、粉骨砕身取り組みたい。

◎市長の三選出馬について

◎市長の政治姿勢について



小矢部市民の会
嶋田 幸恵 議員

◎市長の政治姿勢について

質問 市長は「魅力・安心・充実しあわせおやべ」の実現に向けて公約を掲げられたが、公約の達成度はどのよう感じておられるか。市長の見解を問う。

答弁 さらなる小矢部市の発展に向け、定住促進プロジェクトをはじめとする重要課題に積極的に取り組むなど、第6次総合計画を著実に推進してきた。平成25年に実施した市民満足度調査では、満足度が不満足度を大幅に上回るとともに、平成21年度の調査に比べ、満足度が15・9%上昇したことから、目指すまちづくりが着実に前進しているものと考えている。今後ともタウンミーティングやトークの日など、様々な機会を捉えて、市民の皆さんからご意見をいただき、市民目線に立った市政運営に邁進していきたいと考えている。

質問 小矢部市の現実として、人口は減少の一途をたどっている。小矢部市にとって重要なことは、20〜39歳の女性の人口を増やすことであると思うが、市長の見解を問う。

答弁 定住施策をはじめとして、子育て支援、婚活支援、そして産

み育てやすい環境を整えることで、本市の魅力、総合力をしっかりと高めていきたいと思っている。また、アウトレットモールの開業により本市のイメージが華やかなものとなり、このことでファッション志向の強い若年女性の定住が増えることを期待している。引き続き、定住促進助成制度や子育て支援施策、通勤環境の優位性などを広く周知することで、若年女性の定住促進に努めていきたい。

質問 産褥*後の女性を大切に、育児の助けや支援が必要であり、元気な祖父母の手助けもまた必要である。祖父母が自信を持って孫育てに参加できるように、子育て研修を実施・奨励してはどうか。市長の見解を問う。

答弁 子育ては、家族の手助けや地域の支えがあることで、より安心できるものだと考えている。現在、妊娠中に行っている「ママパパ講座」には祖父母の参加も受け入れており、また今年度は、三世代同居推進リフォーム助成制度を予算化した。今後とも、こういったところで拡充できるのか庁内で協議していきたい。

質問 子どもたちに、小矢部を大

切に思う気持ちと自分たちが担うという気持ちを持ってもらう必要がある。小矢部を思う気持ちを高めるには、市民歌を大切にすることが重要だと考えている。保育所・幼稚園・小中学校に市民歌を掲示してはどうか。また式典の際には市民歌を市民全員で歌えばよいと思うが、見解を問う。

答弁 市民歌については、保育所・幼稚園・小中学校の行事等で斉唱しており、着実に児童生徒に浸透してきている。昨年度はクロスランドの盆踊りで、保育所児童・幼稚園児が市民歌を歌いながら踊り、今年度は民謡まつりでも行われるなど、新たな取組も行っている。市民歌のパネル等の設置については、今後検討していきたいと考えている。

質問 クロスランドに遊具が増え、多くの子どもたちが賑わっているが、近くの公園からは遊具が消えている。公園の整備状況を見直し、遊具を整備してはどうか。市長の見解を問う。

答弁 本市で管理している24箇所
の都市公園のうち、城山公園をはじめとする10箇所の公園に遊具が設置されている。遊具は毎年点検

し、修繕が必要な場合は修繕を実施しており、修繕が不可能な場合は、新たな遊具を設置している。現在施工中の綾子河川公園にも遊具を設置する計画であり、また、石動駅南土地区画整理事業地内に計画している公園6箇所のうち4箇所にも遊具を設置する計画となっている。

質問 市民目線に立った行政サービスをお願いしたい。財源を大切にして、市当局自らが汗をかくことが基本である。接遇研修を重ね、さらなる行政サービスの向上を望むものであるが、市長の見解を問う。

答弁 本市では、「あつたか窓口日本一」を目指して接遇マニュアルを作成し、窓口をはじめ、庁舎内で挨拶を励行するなど、接遇の改善に取り組んでいる。市民の皆さんから、市役所の雰囲気随分明るくなったという声もいただいております。一定の成果が上がりつつあると思っている。常に気配りを絶やさず、来庁された方々に対して心地よい対応を続けていくためには、継続的に接遇研修を実施する必要があると考えている。

*用語解説

「産褥(産褥期)」…… 出産後、母体が回復するまでの期間。

◎団塊の世代が高齢者になる時の対応と行方・サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）の取組の提案について
◎人口増と出生率向上の取組について



白井 中 議員

質問 本市では認知症での行方不明者が年間でどれくらいいるのか。また在宅でケアをする例が多く、家族の心労も多いと思うが、その対応や対策はどうなっているのか。

質問 大変デリケートな問題であるが、出生率の目標設定を行うべきだと思う。当局の見解を伺う。

答弁 認知症により徘徊のおそれや不安のある方は、平成25年12月末現在で61人と把握しているが、近年、行方が分からないままの方や亡くなられた方の情報は少ない。行方不明で捜索が必要になった場合には、まず警察に捜索願を届出する必要があり。その上で地域包括支援センターに連絡があった場合は、家族の了解を得て、認知症高齢者徘徊見守り協力事業所にIFAXにより写真等の情報を伝達し、捜索協力を依頼している。

答弁 第6次総合計画に目標人口3万3千人を掲げて少子化対策に取り組んでいる。子どもを産み育てることは、個人個人の価値観に関わるものであり、行政が目価値を掲げるのはふさわしくないと考えているが、引き続き、不妊治療助成や不育治療助成を県内トップレベルの水準で実施することで、出生率の向上につながればと考えている。

◎土曜学習モデル事業の取組と学校運営について
◎自然エネルギーの活用について
◎大河ドラマ誘致と観光振興について



石田 義弘 議員

質問 地区公民館と連携して「地域おやべっ子教室」が開催されているが、各公民館の取組の現状や課題、事業評価の結果を踏まえ、どのように改善し、推進しようとしているのか。当局の見解を伺う。

質問 水力発電施設が脚光を浴びている。小水力発電は流れが急で水量が豊富であれば、工事期間も短く、比較的経費も少なく済むと聞いている。本市には事業化に適した箇所はあるのか。また現在の取組状況はどうなっているのか伺う。

答弁 子どもの数が減少していることで、子ども集めに苦慮している教室があると聞いている。そのため、小学校区単位での実施の検討も含め、各委託先団体と協議を行いながら、子どもたちの安全で安心な居場所づくりを推進していきたい。

答弁 平成24年度の県の適地調査では、水量、水路勾配、落差施設等の立地状況から、浅地地内の「小矢部川中部左岸幹線水路」の施設が小水力マイクロ発電施設建設候補地として選定され、平成25年度の事業化調査では、採算性も含め、小水力マイクロ発電の適地であるとの結果が出されている。

質問 農業用水を活用した小

取り組んでいきたい。

- ◎子ども医療費無料制度の拡充について
- ◎子ども子育て新制度について
- ◎国保税の引き下げについて
- ◎就学援助と少人数学級への取組について
- ◎市設置型浄化槽方式について



砂田 喜昭 議員

質問 本市の子ども医療費助成制度は、これまでの拡充により県下でも先進的なものとして高く評価されている。さらなる充実のため、高岡市、砺波市、南砺市の病院でも、窓口無料化とすることはできないか。

答弁 現在、他市での窓口無料化は、一部の保険診療機関に限られているが、市民から要望があれば、利用状況を調査し、両市医師会等とも協議を行って検討していきたい。

質問 来年4月実施予定の子ども子育て新制度に基づき新たに条例化が必要になると思うが、現在の保育の質を低下させないことを原則として取り組んでほしい。

答弁 新たな制度であり、いろいろな問題があると思うが、条例化に向けてしっかりと検討していきたい。

質問 所得が少ないため、国民健康保険税(国保税)を軽減している世帯が国保加入者の4割近くを占めている。国保税を払いたくても払えない世帯があるのでないか。全国的には、一般会計から国保特会に繰り入れをして、国保税を引き下げている自治体も多数あるが、当局の見解を伺う。

答弁 本市では、まず医療費の抑制に努めていただき、財政調整基金を活用しながら、現行の維持を図っていきたくないと考えている。

質問 生活保護基準が改悪されたが就学援助の認定に影響はなかったのか。また多人数学級支援講師の配置を、現行の小学2年生までから3年生以降に拡大する考えはないか。

答弁 就学援助については、以前の基準を用いて認定したため影響はなかった。多人数学級支援講師の配置については、まずは国や県に少人数学級の拡大を要望しながら、今後の課題として考えていきたい。

質問 今年度、下水道整備地区で実施する住民意向アンケートは、非常に重要な役割を果たすものである。市民の皆さんが大変な負担を後世に残さないよう、真剣に検討してほしい。

答弁 住民意向アンケートについては、他市のアンケートも参考に現在検討を進めているところであり、市民の意向が十分に分かるようなものにしていきたい。

傍聴のお知らせ

市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。

本会議を傍聴されたい方は、会議当日、議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。約50名の傍聴が可能です。

また、各常任・特別委員会を傍聴されたい方は、開議時刻の1時間前から30分前までの間に、議会事務局で傍聴の申し込みをしてください。定員は先着5名です。

※電話、口頭による申し込みはできません。



小矢部市議場

録画映像インターネット配信

より多くの皆さんに、定例会や臨時会の本会議をご覧いただけるよう、小矢部市議会のホームページで本会議の録画映像を配信しています。

録画映像は、本会議開催日のおおむね1週間後から配信しています。小矢部市議会のホームページの「議会中継」をクリックして、ご覧ください。(議会開催年や発言者を選択してご覧いただけます。)



小矢部市議会 議会中継ページ
<http://www.gikai-web.com/dvl-oyabe/2.html>

平成26年度 議長交際費支出状況

平成26年4月～平成26年5月（単位：円）

区 分	件数	金 額
1 慶弔・見舞費	3	17,106
① 御祝・寸志	1	2,106
② 激 励 金	2	15,000
③ 香典・供物	0	0
2 協 賛 費	2	9,780
3 会費・懇談会費	2	10,000
4 そ の 他	1	3,552
合 計	8	40,438
平成26年度予算額		1,400,000
執 行 率		2.89%

※小矢部市ホームページからもご覧になれます。

多田勲議員逝去される



多田勲議員が、6月29日逝去されました。
多田勲議員は、平成10年の小矢部市議会議員選挙で初当選され、4期15年余にわたり市勢発展のためご活躍されました。
ここに生前のご功績をたたえ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

■ 市外からの行政視察

小矢部市議会では、全国各地の議会関係者の行政視察を受け入れています。

平成26年4月以降、次の議会が本市を訪れました。



年月日	視察来庁市町村議会 (委員会・会派)	人員 (人)		視 察 内 容
		議員	随行	
26. 5. 29	熊本県宇土市議会 (会派)	6	－	・子ども医療費助成制度について
7. 2	宮城県松島町議会 (第2常任委員会)	7	2	・認知症安心ネット 「小矢部市認知症地域支援体制構築等推進事業」について
7. 2	長野県木曾町議会 (経済建設委員会)	5	3	・「木曾義仲・巴御前を大河ドラマに！」の経緯と現状・課題等 ・木曾義仲・巴御前を活用した産業・観光の状況等
7. 7	長野県飯山市議会 (会派)	4	－	・アウトレットモールについて ・子育て支援と定住対策について ・北陸新幹線金沢延伸の対応策について
7. 17	千葉県木更津市議会 (会派)	4	－	・耕作放棄地解消事業について

市議会の虚礼廃止にご理解を！

この度、小矢部市議会では、虚礼廃止の観点から、原則として弔電を自粛することを申し合わせました。
市民の皆様のご理解をお願いします。

9月臨時会の日程(予定)
4日(木)10時 本会議

9月定例会の日程(予定)
10日(水)10時 本会議(提案理由説明)

11日(木) 議案調査日
12日(金) 議案調査日

16日(火)9時 議会運営委員会

17日(水)10時 本会議(代表・一般質問)

18日(木)10時 特別委員会

19日(金)10時 特別委員会

22日(月)10時 決算特別委員会

24日(水)14時 委員長会議

25日(木)10時 議会運営委員会
13時 全員協議会
15時 本会議(質疑・討論・表決)

※緑色の文字はケーブルテレビ放送予定、録画映像インターネット配信予定です。

意見書（議員提出）

地方自治法第99条の規定に基づき、政府に対して意見書を提出しました。

手話言語法制定を求める意見書

手話とは、日本語を音声ではなく、手指や体の動き、表情を使う独自の語彙や文法体系をもつ言語である。「音声がかえらない」「音声で話すことができない」など、聴覚障害者にとって、日常生活や社会生活を営む上で、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段である。

国連総会において平成18年12月に採択、平成20年に発効された「障害者権利条約」の第2条には、「「言語」とは、音声言語及び手話その他の形態の非音声言語をいう。」と定義され、手話が言語として国際的に認知された。

また、政府は平成21年度に内閣府に障がい者制度改革推進本部を設置し、障害者権利条約の批准に向けて国内法の整備を進めている。平成23年8月に改正された「障害者基本法」の第3条には、「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められ、手話は言語に含まれることが明記されたところである。

さらに、同法の第22条には国及び地方公共団体に対して情報の利用におけるバリアフリー化施策を義務づけていることから、手話が日本語と対等な言語であることを示し、日常生活、職場、教育の場で手話を使った情報の提供やコミュニケーションが保障され、自由に手話が使え、社会環境の整備、そして、手話を言語として普及・研究できる環境の整備を国として実現する必要がある。

よって、国会及び政府におかれては、上記の内容を盛り込んだ「手話言語法（仮称）」を早期に制定するよう強く要望する。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年6月20日

小矢部市議会議長 中村重樹

提出先

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
厚生労働大臣
内閣官房長官

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

我が国には、ウイルス性肝炎、特にB型・C型肝炎の患者が合計350万人以上と推定され、国内最大の感染症となっている。

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、現在、B型・C型肝炎のウイルスの減少を目的としたインターフェロン治療と、B型肝炎の核酸アナログ製剤治療に限定されており、より重篤化した肝硬変・肝がんに対する治療自体についての助成制度が存在しない。そのため、重度の病態により就労困難な肝硬変・肝がん患者の多くは、経済的に苦しい中で高額な医療費を負担せざるを得ず、生活に困難を来している。

また、現在の障害者手帳の認定基準は、肝硬変・肝がん患者をはじめ肝疾患の病状に合致する基準となっておらず、支援が必要な病態にある大多数の患者が認定を受けることができない状況にある。

現在、ウイルス性肝炎が原因である肝硬変・肝がんによって多くの方が亡くなっている中、肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成を含む生活支援制度の創設は、特に緊急に取り組むべき課題である。特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法においても、「とりわけ肝硬変及び肝がんの患者に対する医療費助成を含む支援の在り方について検討を進めること」との附帯決議がなされているが、国においては、新たな具体的措置が講じられていない。

よって、国及び政府におかれては、ウイルス性肝炎患者の救済のため、下記の事項について速やかに実現するよう強く要望する。

記

1. ウイルス性肝炎肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。
2. 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳交付の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年6月20日

小矢部市議会議長 中村重樹

提出先

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
厚生労働大臣
内閣官房長官

閉会中委員会開催状況

総務常任委員会

5月20日に所管事項の調査研究として、市当局に出席を求め、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎平成27年度に採用する職員の募集
12052

市当局から、平成27年度に採用する職員の職種や採用予定人員、試験採用のスケジュール等について報告がありました。

◎夏の節電対策の実施について

5月15日から10月末日まで、夏の節電対策を実施し、6月から9月までの期間を節電対策の強化月間・時間外勤務縮減月間とすることについて報告がありました。

*総務常任委員会行政視察報告

【日程】

平成26年5月14日～16日

【視察目的（視察先）】

- ・公共施設再編に関する基本的な考え方について（東京都武蔵野市）
- ・公共施設更新問題に対する取組について（神奈川県秦野市）
- ・公共施設の再編整備に関する基本方針について（千葉県袖ヶ浦市）
- ・三井アウトレットパーク木更津の現在の状況について（千葉県木更津市）

産業建設常任委員会

5月13日に所管事項の調査研究として、市当局に出席を求め、委員会を開催しました。

*委員会の研究テーマである「広域観光」、「バイオマスの活用」、「石動駅南整備」、その他について、委員から意見がありました。（主な意見）

・石動駅周辺整備については、検討が始まった図書館の問題など、当委員会の所管外の事項であっても、石動駅周辺を全体で整備するという観点で進める必要がある。

・交通安全の観点から、交通量の多い道路や通学路など、必要性の高い道路から計画的に歩道を整備する必要がある。

*産業建設常任委員会行政視察報告

【日程】

平成26年5月7日～9日

【視察目的（視察先）】

- ・木質ペレットの活用について（埼玉県飯能市）
- ・アウトレットと商工振興・観光振興について（栃木県佐野市）
- ・合併処理浄化槽設置PFI事業について（埼玉県嵐山町）

民生文教常任委員会

5月8日に所管事項の調査研究として、市当局に出席を求め、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎第2次地域福祉計画及び第2次障害者福祉計画策定について

平成26年度から30年度までの5年間を期間とする本市の地域福祉計画と障害者福祉計画を策定した旨の報告がありました。

◎いじめ防止基本計画について

いじめ防止対策推進法に基づき、本市の基本方針を策定した旨の報告がありました。

◎おやべウオーキングについて

本市の魅力の再発見と健康増進を目的としたおやべウオーキングの開催について報告がありました。

*民生文教常任委員会行政視察報告

【日程】

平成26年5月19日～21日

【視察目的（視察先）】

- ・小中一貫校の推進について（千葉県鴨川市）
- ・駅図書館の運営について（千葉県市川市）
- ・5年間英語について（千葉県松戸市）

東部産業団地等特別委員会

5月22日に所管事項の調査研究として、市当局に出席を求め、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎東部産業団地造成事業の進捗状況
12052

市当局から、東部産業団地造成工事の進捗状況（5月22日時点）と今後の予定について報告がありました。

報告では、造成事業用地が32筆・約4540平方メートル増え、全体面積は約14万6260平方メートルになると説明がありました。その他、概算事業費の変更や最新の土地利用計画図が提示されました。

なお、当日は、マイクロバスで造成地に赴き、造成事業の進捗状況を確認するなど現地調査を実施しました。

*「定住効果」に関して、委員から意見がありました。（主な意見）

- ・アウトレットの進出は、雇用面と定住面でメリットがある。もっと前向きに取り組む必要がある。
- ・アウトレットで働く方々が定住されるよう、また市民がアウトレットで働けるよう要望する。

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会の議案審査の過程において、市当局に対し、次の意見がありました。

総務常任委員会

「公共施設の在り方」について、行政視察も行い、いろいろな視点から取組みについて研修した。

視察先では、公共施設白書について、「施設の個別データ」も含めて作成し、作成後は、様々な手段を通じて、市民へ情報を提供している。市においても速やかに公共施設白書の作成に取りかかり、完成後は、白書の内容を、市民へ周知すること。また、白書の完成で終わることなく、公共施設再配置等の基本計画策定につなげる。

公共施設について、建物面積の総量の削減に向けて再配置を進めることは、削減だけを目指すのではなく、更新のための財源を生み出すためのものがある。できるだけ早く対策に手をつけることで、公共施設の更新問題に速やかに対応することができ、新たな公共施設の建設についても、建設財源はもとより、その後発生する維持管理費等も踏まえて、慎重に取り組むこと。自分たちの便利さや豊かさだけを求めて、結論を先送りして、次世代に大きな負担を押し付けないこと。

「第6次小矢部市総合計画後期実施計画」の実施にあたっては、現状を再確認し、慎重に進めること。

産業建設常任委員会

一点目は、歩道整備について、市内の道路全体を見渡し、交通量の多い道路や通学路など、必要性の高い道路から、順次計画的に歩道整備を行うこと。

二点目は、有害鳥獣被害対策について、今年度、多くのイノシシが捕獲されていると聞いているが、農作物被害田畑の荒廃あるいは農業施設被害を防ぐ観点から、囲いなどの設置に係る実証実験の結果を踏まえ、実効性のある有害鳥獣被害対策を講ずること。

三点目は、都市計画マスタープランについて、今年度、17年ぶりに見直しを行い、新しい地域別構想が策定されるが、「小矢部ルネサンス」特に「小矢部市の再生」に向けた計画策定であると認識している。検討委員会の意見や都市計画審議会での議論を踏まえ、しっかりとしたマスタープランを策定すること。

四点目は、小矢部市の三大祭（石動曳山祭・おやべの獅子舞祭・津沢夜高あんどん祭）については、従来以上に伝統文化の保存・伝承を支援すること。また、火牛祭り等のイベントについても、さらに魅力のあるイベントとなるよう支援すること。

民生文教常任委員会

平成26年4月から消費税が8%に引き上げられたことに伴い、所得の低い方や子育て世帯への影響を緩和するために、暫定的・臨時的な措置として、「臨時福祉給付金」及び「子育て世帯臨時

特例給付金」が給付される。

この給付事務については、全国の各自治体で実施されるが、本市においては、丁寧かつ積極的に制度内容を周知し、対象者の申請漏れがないように努めていただきたい。

また、「臨時福祉給付金」については、高齢者の多くが対象になると思われるので、給付金の支給要件等に対する問い合わせには、受付窓口などを設置して取り組んでいただきたい。

東部産業団地等特別委員会 (最終報告)

平成25年9月定例会以降、7回の委員会を開催し、あらかじめ設定した研究テーマに従って討議をし、審査や調査を行うとともに、東部産業団地造成地の現地調査をはじめ、岡山県倉敷市と静岡県磐田市においてはアウトレットモール等大型ショッピングセンターの誘致に関して、また三井アウトレットパーク倉敷と三井アウトレットパーク入間においてはアウトレットの開業による影響に関して行政視察を実施いたしました。

当委員会では、北陸で初となるアウトレットモール（仮称）三井アウトレットパーク北陸小矢部の開業に向けて、東部産業団地造成事業の円滑な進捗・早期整備はもとより、雇用対策や交通渋滞対策、観光客の市街地への回遊策など、山積する諸課題の解決に向けて、委員会活動を実施して参りました。

現在、東部産業団地造成事業の進捗状況については、小矢部市土地開発公社が事業主体となり、造成地における

畦畔ブロック等撤去工事、表土剥取り工事及び仮設道設置工事が完了し、盛土等の造成工事が進捗しております。今後は、市が事業主体となり、上下水道管・下水道管の布設工事や市道東部産業団地線の新設工事、防火水槽、調整池及び公園緑地の整備が順次進められることになっております。

このほか、アウトレットモールへの円滑な進入や交通渋滞の抑制を図るために必要となる道路整備については、国道8号の4車線化や主要地方道小矢部伏木港線の県道拡幅により、対応していくこととされており、

また、アウトレットモール進出の効果を市内に波及させるための取組については、各界の専門委員で構成する小矢部市商業まちづくり戦略会議や庁内組織である東部産業団地整備・活用推進委員会での協議や検討を踏まえ、今年度、「小矢部市商業まちづくりプラン」が策定されることになっております。

こうした現状を踏まえ、次の点について、東部産業団地等特別委員会としての最終報告を行うものであります。

来年度夏のアウトレットモール開業を控え、環境・治安・防犯対策、商店街集客対策、雇用・定住対策など様々な課題が山積しているところであるが、東部産業団地及びその周辺地域における経済効果、集客効果、評判効果、定住効果が最大限に発揮されるよう、東部産業団地整備・活用推進委員会において、しっかりと議論を積み上げ、市当局が責任を持って、粛々と、かつ、丁寧に課題の解決に資する施策を講ずること。

会務報告

平成26年3月25日から平成26年6月8日まで

年月日	件名	摘要	開催地
26. 3. 26	高岡地区広域圏事務組合議会 議員協議会・定例会	・平成26年度一般会計予算・分担金 ・平成25年度一般会計補正予算・分担金	高岡市
4. 15~17	議会運営委員会行政視察	・議会改革の取組状況について ・大河ドラマ誘致について	山口県山陽小野田市 山口県萩市
4. 21~22	高岡地区広域圏事務組合行政視察	・施設調査 ふじみ衛生施設グリーンプラザ「ふじみ」	東京都調布市
4. 23	議会だより編集委員会	・第173号発刊について	第二委員会室
4. 24	全員協議会	・行政委員会等の会務報告 ・小矢部市地域防災計画の改訂について他8件報告	第一委員会室
	議員懇談会	・一部事務組合議会からの報告	第二委員会室
	第89回北信越市議会議長会総会	・平成25年度会務報告 ・平成25年度会計歳入歳出決算及び慶弔基金会計歳入歳出決算報告 ・平成26年度会計歳入歳出予算及び慶弔基金会計歳入歳出予算 ・会長及び各県市議会議長会提出議案	福井県福井市
5. 7~9	産業建設常任委員会行政視察	・木質ペレットの活用について ・プレミアムアウトレットと市内の商工振興について ・観光振興について ・合併処理浄化槽設置PFI事業について	埼玉県飯能市 栃木県佐野市 埼玉県嵐山町
5. 8	民生文教常任委員会	・第2次小矢部市地域福祉計画及び第2次小矢部市障害者福祉計画について他2件報告	第二委員会室
5. 13	産業建設常任委員会	・報告なし ・委員会行政視察報告	第二委員会室
	砺波地域消防組合議会運営委員会	・臨時会提出議案について	砺波市
5. 14~16	総務常任委員会行政視察	・公共施設再編に関する基本的な考え方について ・公共施設再配置の取組について ・公共施設の再編整備に関する基本方針（案）について ・三井アウトレットパーク木更津の現在の状況について	東京都武蔵野市 神奈川県秦野市 千葉県袖ヶ浦市 千葉県木更津市
5. 19~21	民生文教常任委員会行政視察	・小中一貫校の推進について ・駅図書館の運営について ・松戸市5年間英語について	千葉県鴨川市 千葉県市川市 千葉県松戸市
5. 20	総務常任委員会	・平成27年度に採用する小矢部市職員の募集について他1件報告	第二委員会室
5. 22	東部産業団地等特別委員会	・現地調査 ・東部産業団地造成事業の進捗状況等について報告	第一委員会室
	富山県日台友好議員連盟理事会・総会	・平成25年度事業実績及び収支決算報告 ・平成26年度事業計画及び収支予算 ・講演会	富山市
5. 23	砺波地域消防組合議会臨時会	・平成26年度一般会計補正予算（第1号）について ・財産の取得について ・専決処分2件について	砺波市
5. 26	全員協議会	・津沢夜高あんどん祭りについて他1件報告	第一委員会室
	議員懇談会		第二委員会室
5. 27	県選出国会議員との懇談会	・各市議会要望要旨説明	東京都
6. 2	議会運営委員会	・平成26年6月小矢部市議会定例会提出議案等について	第二委員会室

編集後記

7月4日、北陸初となるアウトレットモール「(仮称)三井アウトレットパーク北陸小矢部」が着工されました。報道によると、来年7月開業予定であり、テナント数は160店舗、観覧車や遊具を揃えた屋外広場を整備すると発表され、年間300〜350万人の来場を指すとされています。

市議会といたしましても、市当局と一丸となって、アウトレットモールによる集客効果や経済効果等が最大限に発揮されるよう努めていきたいと考えております。

また、第13期目の小矢部市議会議員の任期も、9月1日をもって満了しようとしております。任期中、市民の皆さんには格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今後とも、引き続き、市民の皆さんのご支援とご協力をよろしく願います。

次回の「議会だより」は、平成26年11月の予定です。
(議会だより編集委員一同)